

2023 年度心理学研究科大学院説明会 質問回答集

大学院説明会へのご参加、ありがとうございました。説明会の質疑及びアンケートでいただいたご質問^{※1}について回答集^{※2}を作成しました。受験の際のご参考になれば幸いです。

※1. なるべく参加者全体に該当する内容になるよう、質問は一部アレンジしています。また、同様の質問が複数あった場合は 1 つにまとめております。一部は過去の説明会での質問も含まれております。

※2. 個人的な質問や込み入った内容の質問についてはこちらに記載しておりません。お手数ですが、指導を希望する教員にご連絡いただくか、教務センター（大学院係）にお問い合わせください（052-835-9863）。

Q1. 臨床心理学領域に関して、公認心理師と臨床心理士の両資格の受験資格を目指すつもりでしたが、公認心理師のみ、あるいは臨床心理士のみを目指すということでもよろしいのでしょうか？

A1. 可能です。本研究科の臨床心理学領域は、両資格の受験資格を取得可能なカリキュラムを編成しております。ただし、臨床心理士と公認心理師では、カリキュラムに含まれる授業は微妙に異なる点があります。私たち教員一同としましては、臨床心理士だけを目指す場合にも、公認心理師の講義を履修するように薦めております。

Q2. 臨床心理学領域のカリキュラムに関して、大学院生が公認心理師を既に持っている場合（実務経験で取得）も進学できますか？また履修カリキュラムが異なるのでしょうか？

A2. 進学可能です。ただし、カリキュラムの中には必修科目にあたる公認心理師用の実習科目があります。また、臨床心理学領域の教員一同としましては心理職として必要な知識・スキル・専門家としての態度の習得のため可能な限り臨床心理士と公認心理師を含めたカリキュラムを履修していただくことを薦めております。

Q3. 臨床心理学領域に進学したいのですが、他の研究領域の教員から助言等は受けられますか？

A3. 当大学院では、研究交流がゼミの垣根なく活発にされていますので、入学したあと、当該ゼミ以外の先生に研究の相談に行くことも日常的にあります。さらに臨床心理学領域の院生でも、応用領域や発達領域の先生に研究の相談に行くということも日常的にあります。当大学院のこうした特色を活用して研究を深めていただくことを期待して

おります。

Q4. 実験心理学領域に関する質問です。進学と就職の割合、およびその後のキャリアについて教えてください。

A4. 最近の当大学院の進路状況から、実験心理学領域では修士課程で就職する人の割合が高く、IT 関係の企業に就職する人が多いようです。修士課程で培った研究やプログラミングのスキルを活かした仕事に就いています。

Q5. 臨床・発達心理学領域に関して、どれくらいの人が受験するのでしょうか？

A5. 臨床心理学領域では例年約 40～45 名程度の志願者で定員は 10 名程度になります。昨年度の詳しい情報は大学公式 HP からご覧いただけます。

[志願者・合格者・入学者数（大学院） | 大学案内 | 中京大学 \(chukyo-u.ac.jp\)](http://chukyo-u.ac.jp)

Q6. 公認心理師・臨床心理士の受験資格を得るためには臨床心理学領域に進む必要があるのですか？

A6. 公認心理師・臨床心理士、いずれも大学院では臨床心理学領域でないと受験資格を得ることができません。ただし、学部時代の領域は臨床心理学領域以外でも可能です。

Q7. 臨床心理学領域について質問です。現在心理学部ではない学部には所属していますが、公認心理師を目指すには必ず学部から大学院という過程を踏まなければなりませんか？大学院を修了してから学部へ進学という順番は可能でしょうか。

A7. 公認心理師を目指す場合、学部時代に法律で定められた 25 科目を履修済みであることが必要です。したがって、まず学部で 25 科目を履修してください。また、大学院を修了したのちに、学部の 25 科目を履修することは、厚生労働省によって認められていません。

Q8. 臨床心理学領域では入学後にゼミの先生が決定するという他の領域とは異なる形態をとっているとお話をお聞きしましたが、こういった意図によるものなのか、差し支えなければ教えていただきたいです。

A8. 公認心理師科目の中の臨床指導に関わる科目の単位認定に関して、一人の教員が指導できる院生の人数の上限が法律で定められているため、その上限に達しないように、人数を調整しています。そのため、出願の際に希望したゼミとは異なるゼミに配属される場合もあります。

Q9. 卒論の概要を提出する必要があるようですが、卒論が完成していない場合、出来ている部分までの概要提出でよろしいのでしょうか。

A9. できている部分までの概要でけっこうです。

Q10. 大学院入試の過去問題をもらうことは可能でしょうか。

A10. 下記の資料請求フォームから過去問題等の資料をご請求いただくことができます。すべての科目について、過去2回分の問題を入手できます。

大学院資料請求はこちら([大学院資料請求 | 中京大学大学院入試要項請求 | 入試情報 | 中京大学 \(chukyo-u.ac.jp\)](http://chukyo-u.ac.jp))

教務センター(大学院係)の窓口でも受け付けております。窓口の場所がわからない場合は、教務センター(大学院係)にお問い合わせください(052-835-9863)。なお、土日祝日、大学一斉休暇期間中、その他の入構禁止期間中は、窓口での配布を行いませんのでご注意ください。

Q11. 教務センター(大学院係)にある大学院入試の過去問題は毎年もらいに行ってもよいのですか。

A11. はい、毎年来ていただいて構いません。なお、配付する過去問題は毎年5月に新しいものになり、古いもの(過去2回分より前のもの)は配付・閲覧できなくなりますので、ご注意ください。

Q12. 中京大学心理学部では、秋学期にカウンセリング基礎演習がありますが、もし定員の30名に入らなかった場合、公認心理師は目指せませんが臨床心理士は目指せるので大学院進学を考えています。そういう方も実際にはいらっしゃいますか？

A12. 公認心理師科目「カウンセリング基礎演習(心理演習)」の30名枠の選考から漏れた場合に、臨床心理士のみを目指すという希望で、本学の臨床心理学領域へ進学をするということは可能です。最近でも、臨床心理士のみを取得するために大学院に進学し修了した人は複数いました。

Q13. 研究室訪問は推奨していますか？

A13. 領域や教員によります。教員に直接お問い合わせください。連絡先がわからない場合は教務センター(大学院係)にお問い合わせください(電話:052-835-9863、e-mail:gs-office@ml.chukyo-u.ac.jp)。

以上